

参加費 **37,800**円(1名様につき)※消費税・地方消費税2,800円含む
※テキスト・コーヒー代を含む。

●お申し込み方法

- 下記「参加申込書」にご記入後、下記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証／請求書／銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名前1枚」と共にお渡し願います。
- 開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- 参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- お振込みが開催後日になる場合は、下記「振込予定日」欄にご記入ください。
- お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- 当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄にV印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- 代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名前1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- 開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560にて必ずご連絡ください。
- 返金手数料として2,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- お座席は受付順を基本に当方にて指定させていただきます。
- 会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、PC・携帯電話等の使用はお断りいたします。
- ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- 主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

フリーダイヤルFAX番号
FreeDial **0120-05-2560**
総合ユニコム株式会社

左記のFAXが通じない場合は
03-3564-2560におかけ下さい。
企画事業部 TEL03-3563-0099(直通)

セミナー参加申込書

温浴・スパ施設の [活力再生][集客向上]手法研究講座

●会社名(フリガナ)	●貴社業種
●所在地()	●振込予定日(月 日) ●当日現金支払い希望・・・ <input type="checkbox"/> ●ご担当者名()
TEL () ()	FAX () ()
●出席者名①(フリガナ)	●所属部署・役職
●E-mailアドレス	
●出席者名②(フリガナ)	●所属部署・役職
●E-mailアドレス	

◎0320180324-050

[セミナーのポイント]

- ◆温浴・スパ事業の最新動向検証
- ◆集客改善、客単価アップ、滞留時間の延長など施設の改善のヒントは何か
- ◆施設価値向上のためのリニューアル、館内魅力創造のためのイベント・演出法とは

ごあんない

温浴・スパ施設は、健康志向、風呂好きなわが国の生活者に不可欠な集客装置として定着しましたが、近隣施設との競合は激化する一方で、大浴場、食事、リラクゼーションの各アイテムに魅力を投入し、いかに集客・売上を向上させていくか、運営現場の意識を高めしていくか、などの課題は常に山積しています。競合に負け、集客数を落とせば追加設備投資に資金も投入できない負のスパイラルに落ち込むばかりです。

温浴・スパ施設の魅力再生の手立てとして今、最も注目を集めるのが「おふるcafe®」を展開する温泉道場グループで、温浴施設としての機能に加え、カフェをコンセプトにした飲食施設を併設し、コーヒーや雑誌・コミック、マッサージチェア、PCレンタルなどを提供し長時間滞在できる新業態の温浴施設を開発し、既存施設の大改革を行なうことで現在5施設まで拡大しました。

また空間の演出に加え、現場スタッフを巻き込んだイベントも大事な演出の一つであり、企画次第でリピート率の向上、客単価アップも実現します。その演出手法について、今一度、自施設を見直すことも重要です。

本セミナーは、既存温浴施設のリニューアル・修繕を効果的に行なうための具体手法を、既存温浴施設イノベーターとして数々の実例を生み、集客を高める施設空間、イベント企画、サービスを実践する(株)温泉道場の山崎寿樹氏に、また山崎氏と同じ志で「ニッポンおふる元気プロジェクト(おふる甲子園)」を実践するほか、飽きさせないための集客企画を実践する「満天の湯」(横浜市)久下沼伊織氏にお話をいただきます。

温浴・スパ施設事業の活性化を即実践できる事業情報としてセミナーを開催してまいります。

総合ユニコム株式会社

お問合せ：企画事業部 TEL 03-3563-0099

〒104-0031 東京都中央区京橋2-10-2 ぬり彦ビル南館6階
TEL.03-3563-0025(代表) FAX.03-3564-2560ホームページアドレス <http://www.sogo-unicom.co.jp>

※ホームページでは、総合ユニコムの出版物・セミナーのご案内をしております。

お願ひ：ダイレクトメールの送付先変更または中止をご希望の方は、お手数ですが封筒ラベルに要件をご記入の上、総合ユニコム(株)企画事業部までFAX(03-3564-2560)にてご連絡ください。

温浴ビジネスマネジメントセミナー2018

温浴・スパ施設の [活力再生] [集客向上] 手法研究講座

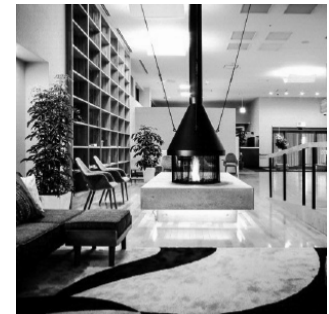
施設魅力向上のための イノベーション具体策研究

イベント企画・空間演出の強化で ファンづくりを進める「満天の湯」

(株)ミュー 久下沼 伊織氏

「おふるcafe®」にみる 温浴施設魅力再生手法

(株)温泉道場 山崎 寿樹氏



日時	2018年3月29日(木) 13:00~16:30
会場	都市センターホテル(東京・永田町) 東京都千代田区平河町2-4-1 TEL:(03)3265-8211
主催	総合ユニコム株式会社 月刊レジャー産業資料

■ セミナープログラム

13:00~14:30

I. 温浴施設集客に生きる「イベント企画」「空間演出」

—— 天然温泉「満天の湯」(横浜市)

1. 2005年6月に開業した「満天の湯」とは

- ・開業から今日までの経緯——どん底から顧客獲得・維持まで
- ・激しい競争状況立地「横浜」での戦い方をどう判断したか
- ・商品=従業員のおもてなし
- ・イベント企画手法

2. さまざまな取組みから生まれた成果

- ・リピート顧客の増加
- ・客数の維持
- ・客単価の維持

3. 温浴事業者としての経営課題への対策

- ・従業員教育・モチベーションアップの手法——「おもてなし総選挙」の実施
- ・衛生管理を全スタッフへ徹底

4. 「おふる甲子園」が生み出した成果とは

- ・共通の目標を設定する価値
- ・「評価されることを楽しむ」という感性を育てる

5. 「満天の湯」の今後の展開

講師: 久下 沼 伊織

(株)ミュー 取締役統括支配人

一般社団法人ニッポンおふる元気プロジェクト 理事/第5回おふる甲子園 実行委員長

■ 講師プロフィール

久下 沼 伊織

(株)ミュー 取締役統括支配人

一般社団法人ニッポンおふる元気プロジェクト(おふる甲子園) 理事

くげぬま・いおり●2005年大手フードチェーンを退職後、(株)ミュー 温浴事業部に入社。2か月で店長となる。10年(株)ミュー 統括支配人に就任し同社アミューズメント事業部を兼任。12年「オフロ保安庁長官」を名乗り、お風呂業界全体の活性化に身を投じ、ニッポンおふる元気プロジェクトのイベント企画、人材育成、モチベーションアップのための業界アワード「おふる甲子園」の運営にもあたる。13年(株)ミュー 取締役統括支配人に就任。現在にいたる。満天の湯は、相模鉄道本線「上里川駅」南口駅前に05年6月に開業した。16年5月、17年10月の2度に渡り、「保土ヶ谷宿」をテーマとした空間づくりを展開している。



「毎日行きたくなるおふる屋さん」を目指しお客様に寄り添う接客手法で地域密着の運営をする満天の湯



14:45~16:30

II. 「おふるcafe®」にみる温浴施設魅力再生手法

—— 温泉道場グループが手がける施設価値向上戦略

1. 現在の温浴施設業界をどうみているか

- ・温浴業界のマクロトレンド
- ・温浴業界の取り組むべき課題について

2. 温泉道場の手がける温浴施設からみる価値向上のための重点ポイント・戦略は

- ・ローカライズ・地域性、立地エリアの人口動態などの基本要件
- ・施設の魅力再生に必要なコンセプトワークの捉え方
- ・スタッフの接客改革
- ・昭和レトロな温泉銭湯玉川温泉にみる再生手法

3. おふるcafe®の実例にみるリニューアル・リノベーション手法

- ・おふるcafe utatane (埼玉県・さいたま市)直営店
- ・おふるcafe bivouac (埼玉県・熊谷市)直営店
- ・おふるcafe 白寿の湯 (埼玉県・児玉郡)直営店
- ・四日市温泉 おふるcafe湯守座 (三重県・四日市市)運営受託
- ・今後のおふるcafe®の展開

4. 新展開「ゆうパークおごせ」での取り組み

——すべてハンドメイドで施設活性化へ

講師: 山崎 寿樹

(株)温泉道場 代表取締役

一般社団法人 ニッポンおふる元気プロジェクト(おふる甲子園)代表理事

山崎 寿樹

(株)温泉道場 代表取締役

一般社団法人 ニッポンおふる元気プロジェクト(おふる甲子園) 代表理事

やまざき・としぎ●2006年4月、(株)船井総合研究所入社。日帰り温泉に特化したコンサルティングを行なう。11年3月より(株)温泉道場代表取締役社長。徹底したマーケティングで不採算店舗の事業再生を得意とし、自らも温浴施設(昭和レトロな温泉銭湯玉川温泉、白寿の湯、おふるcafe utatane)の経営に乗り出す。特に「おふるcafe®」のコンセプトが話題に。大宮「おふるcafe utatane」の成功に続き、熊谷の既存施設のリニューアルで「おふるcafe bivouac(ビバーク)」を16年9月に開業した。また17年11月「四日市温泉 おふるcafe 湯守座」で近畿地方初展開。18年4月より「ゆうパークおごせ」の経営にも乗り出す。一般社団法人ニッポンおふる元気プロジェクト代表理事として「おふる甲子園」を企画・運営するなど、業界活性化にも力を注いでいる。



健康センターをグランピングをテーマに改修した「おふるcafe bivouac」